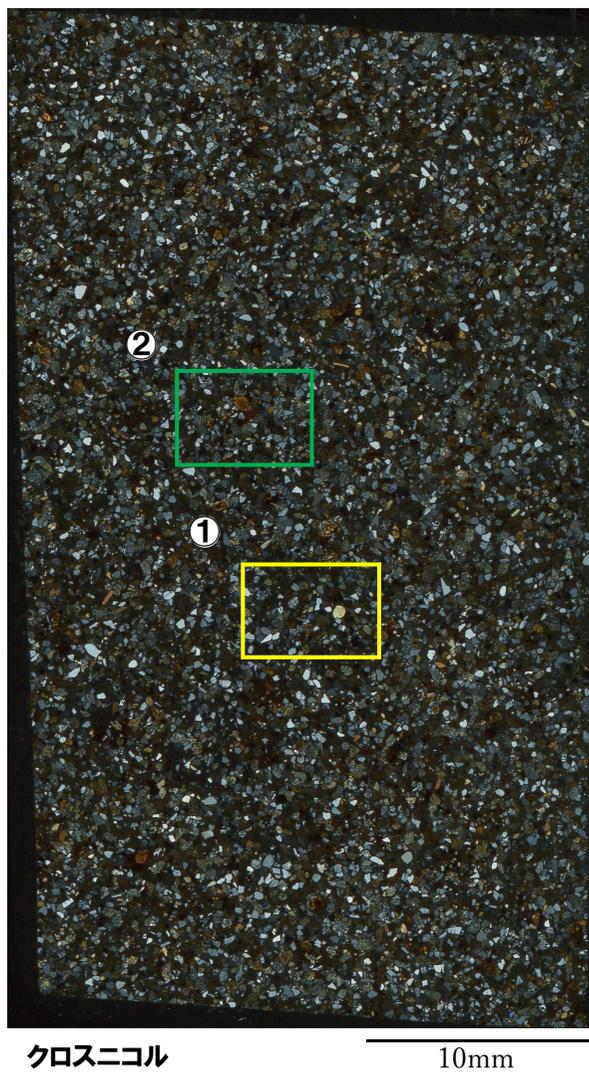
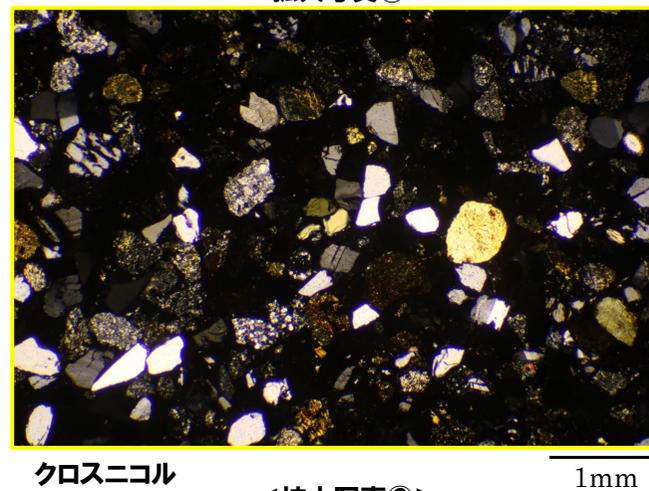


2.2.2 地層区分の妥当性

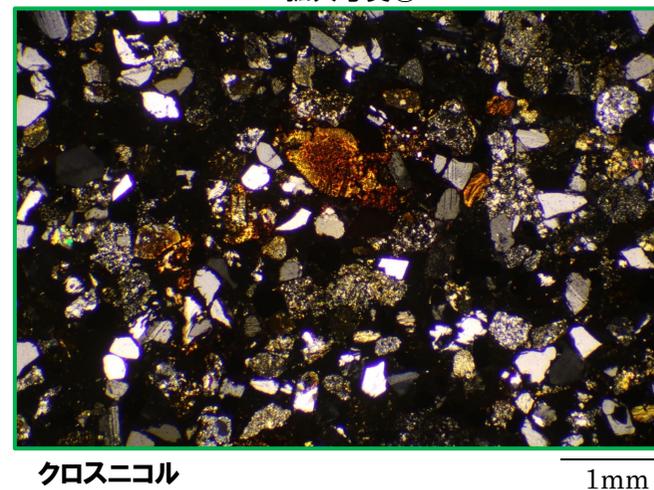
①薄片観察-SKB-TW-1-4(2/2)-



<拡大写真①>



<拡大写真②>

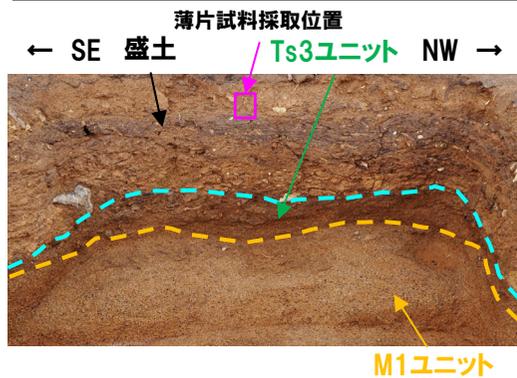


2.2.2 地層区分の妥当性

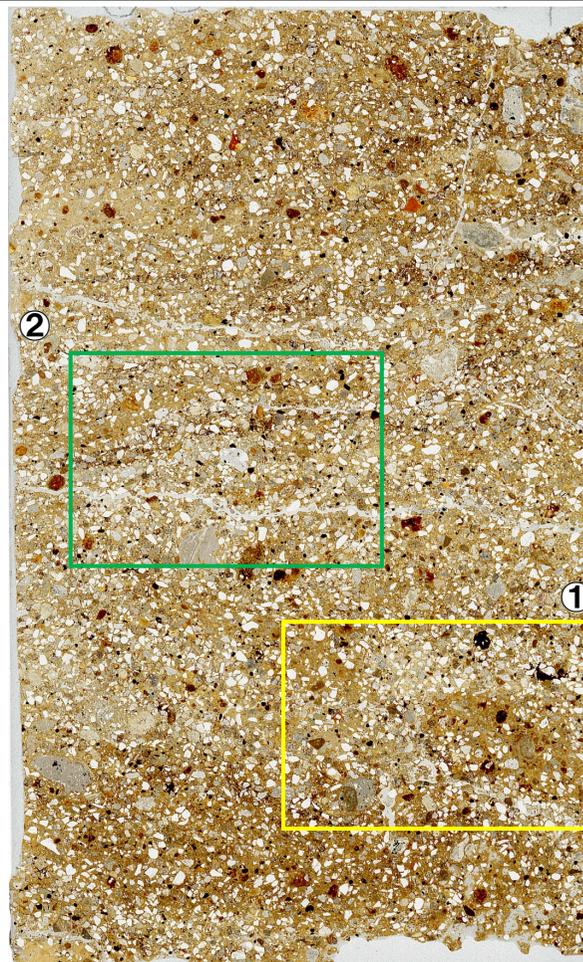
①薄片観察-SKB-TW-3-1(1/2)-

【SKB-TW-3-1(盛土)】

- 褐灰色～黄褐灰色を呈する粘土鉱物が薄片試料全体に多く認められるが、局所的に卓越して多い箇所(拡大写真①)が認められる。角ばった砂粒径の碎屑物が認められ、また細礫サイズの流紋岩やデイサイトの亜角～円礫が混じる。
- 水平方向に連続する空隙が数条認められ、薄片試料内を横断し、層相観察及びはぎとり転写試料観察において認められる特徴(亀裂が発達する)と調和的である(拡大写真②)。

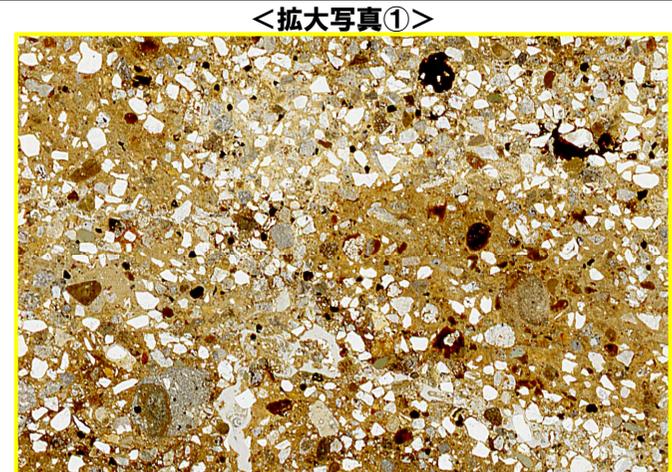


薄片試料写真(作成前)



オープンニコル

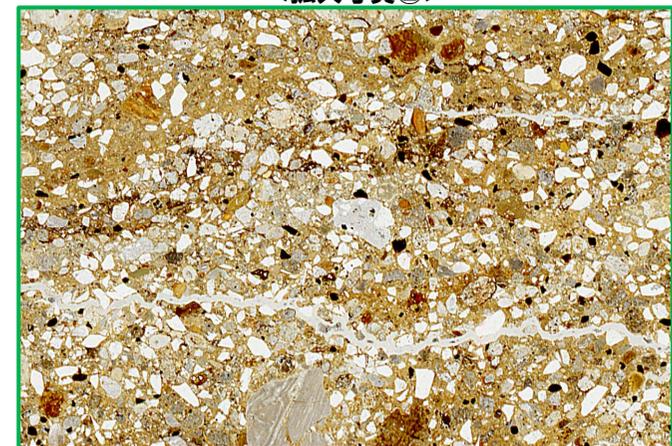
10mm



オープンニコル

<拡大写真②>

2mm

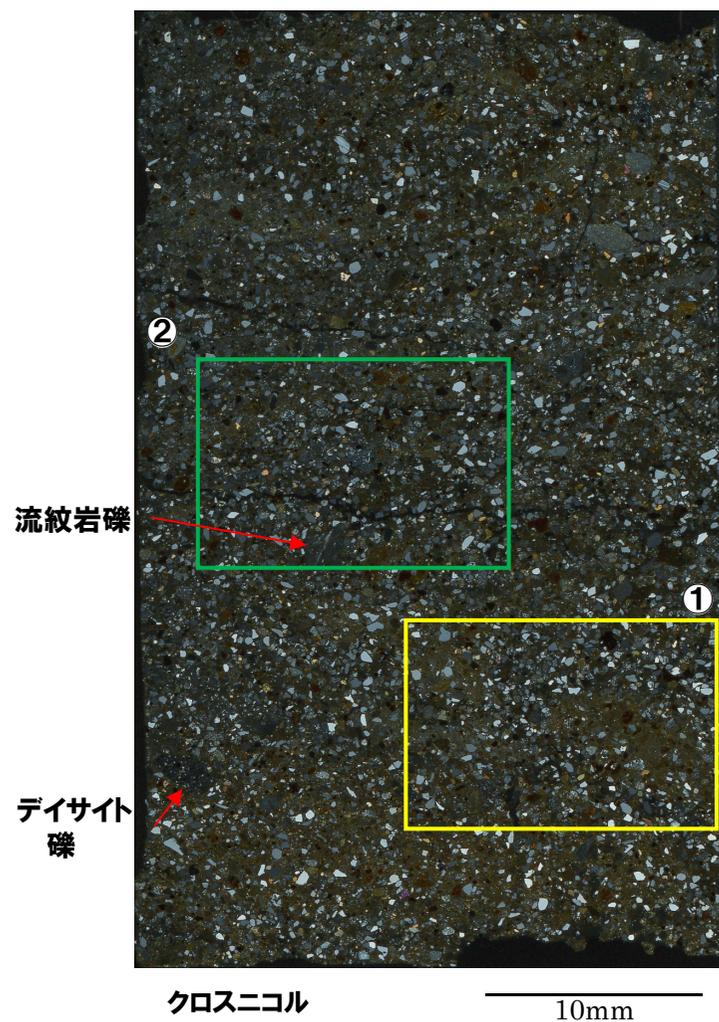


オープンニコル

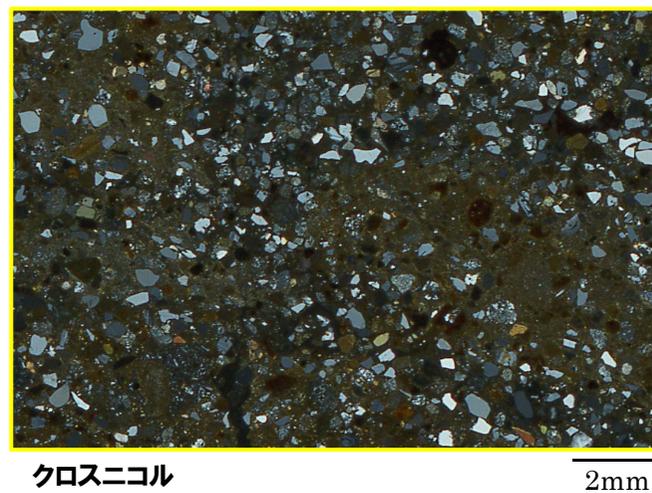
2mm

2.2.2 地層区分の妥当性

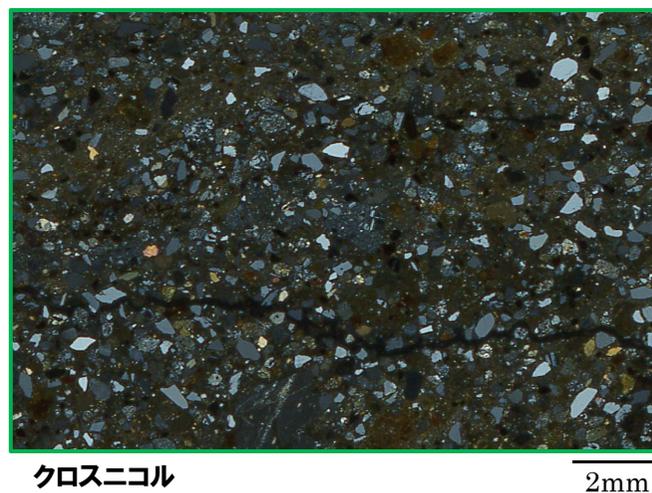
①薄片観察-SKB-TW-3-1(2/2)-



<拡大写真①>



<拡大写真②>

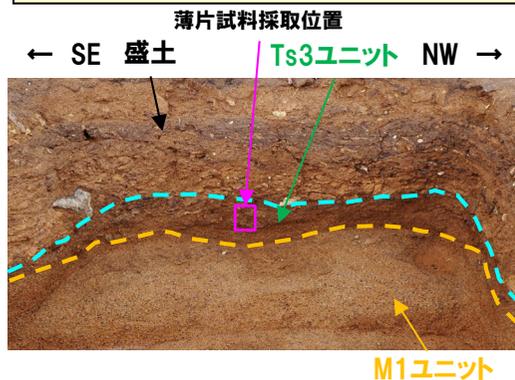


2.2.2 地層区分の妥当性

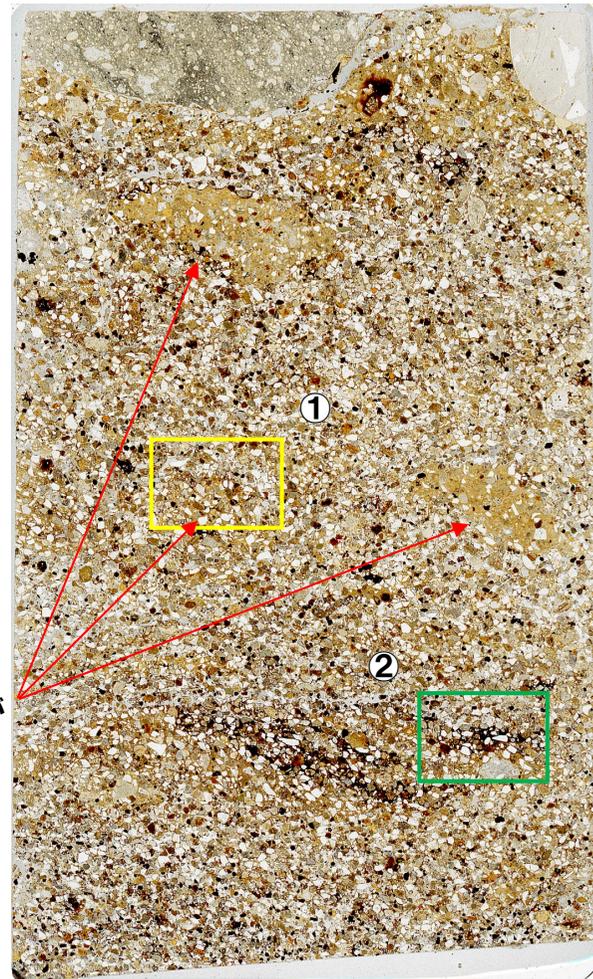
①薄片観察-SKB-TW-3-2(1/2)-

【SKB-TW-3-2(Ts3ユニット)】

- 角ばった砂粒径の碎屑物を主体とし、丸みを帯びた砂粒径の碎屑物が少量混じる。粒子間に粘土鉱物及び泥粒径の碎屑物が認められ、局所的に濃集する(拡大写真①)。
- 上部には旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来と考えられる亜円礫並びに流紋岩の円礫が認められる。
- 下部において粒子の縁及び粒子間に酸化鉄の沈着(拡大写真②)が認められる。



薄片試料写真(作成前)

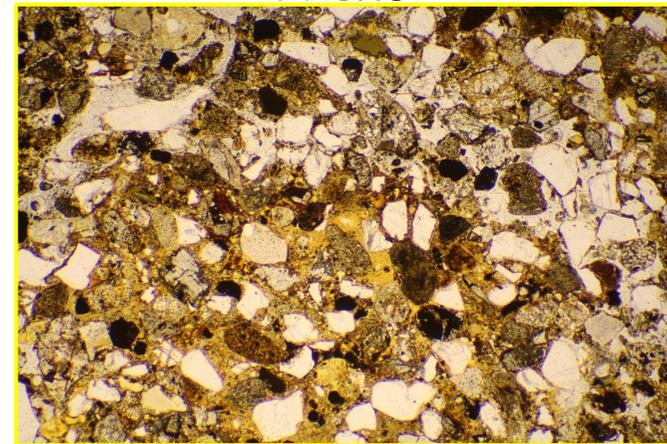


オープンニコル

10mm

粘土
鉱物が
濃集

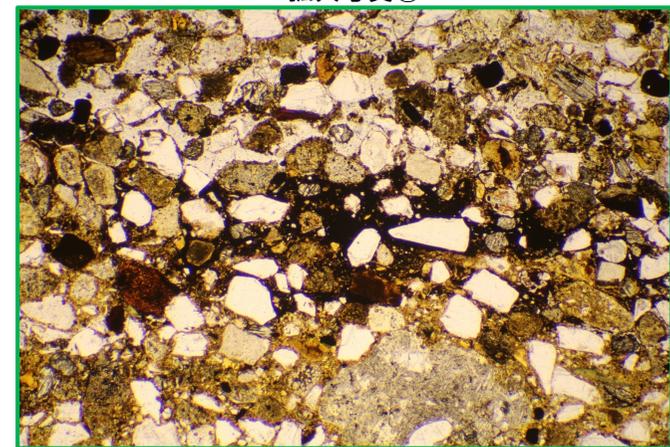
<拡大写真①>



オープンニコル

1mm

<拡大写真②>

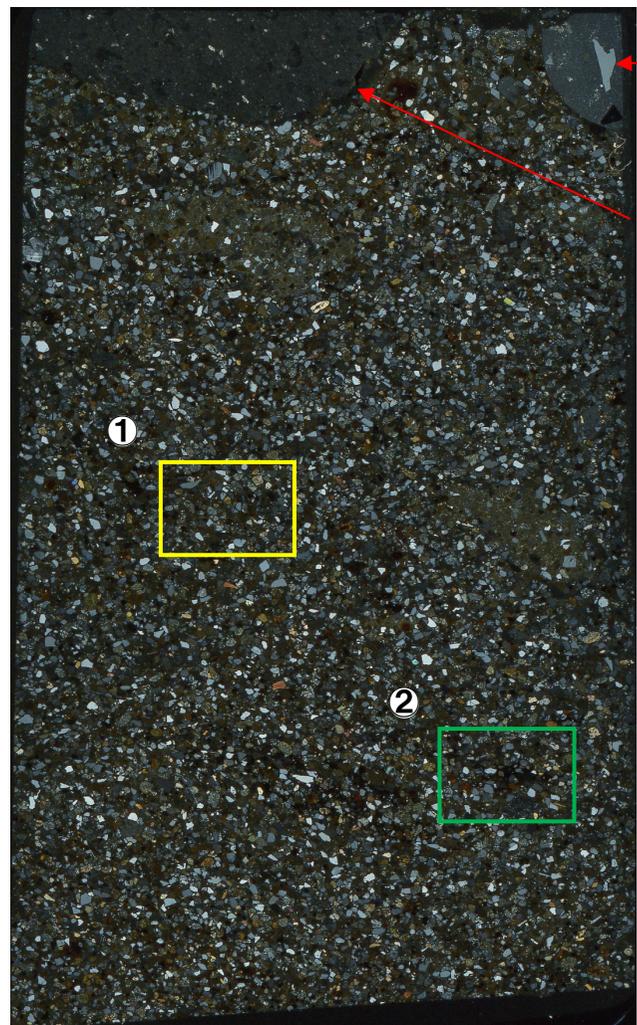


オープンニコル

1mm

2.2.2 地層区分の妥当性

①薄片観察-SKB-TW-3-2(2/2)-



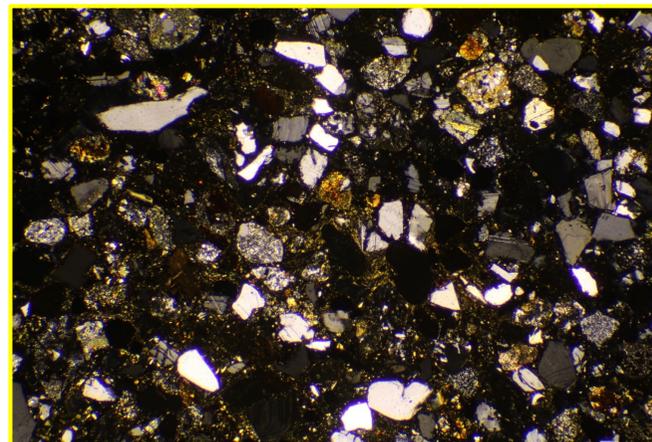
クロスニコル

10mm

流紋岩礫

火山礫
凝灰岩礫

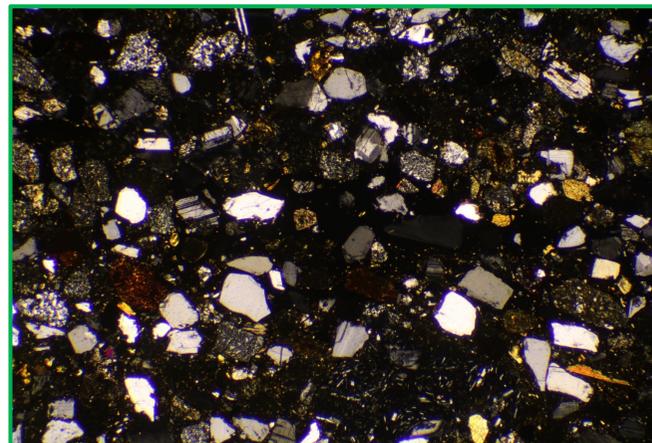
<拡大写真①>



クロスニコル

1mm

<拡大写真②>



クロスニコル

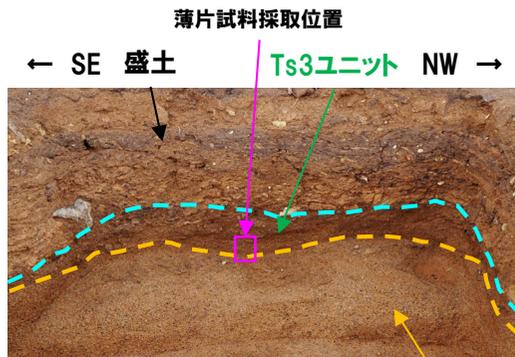
1mm

2.2.2 地層区分の妥当性

①薄片観察-SKB-TW-3-3(1/2)-

【SKB-TW-3-3(遷移部)】

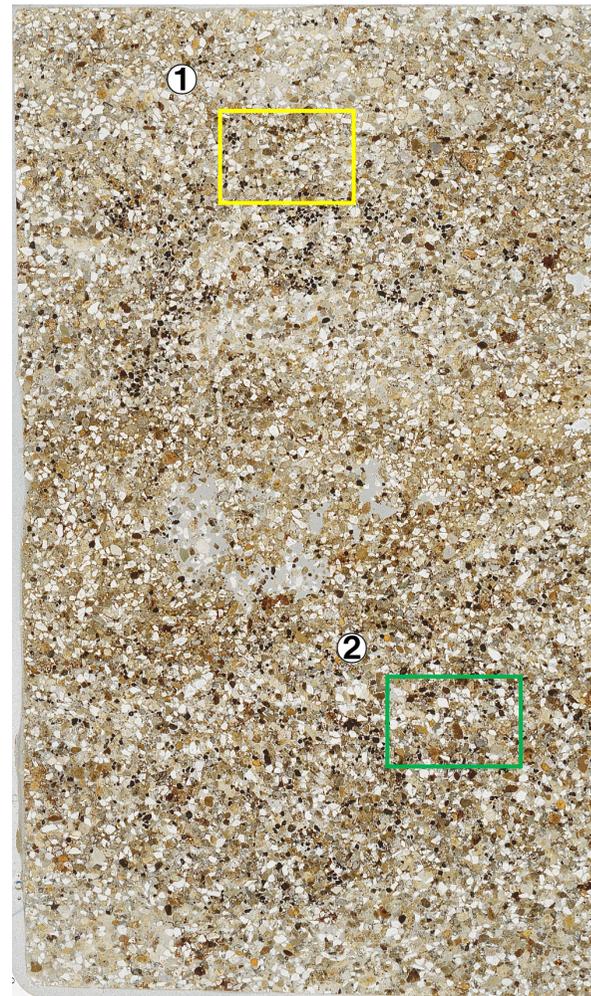
○丸みを帯びた砂粒径の碎屑物を主体とし、角ばった砂粒径の碎屑物が少量混じる。粒子間に少量の泥粒径の碎屑物及び粘土鉱物が認められる(拡大写真①及び②)。



薄片試料採取位置
側溝設置跡(海側壁面)
薄片試料採取位置

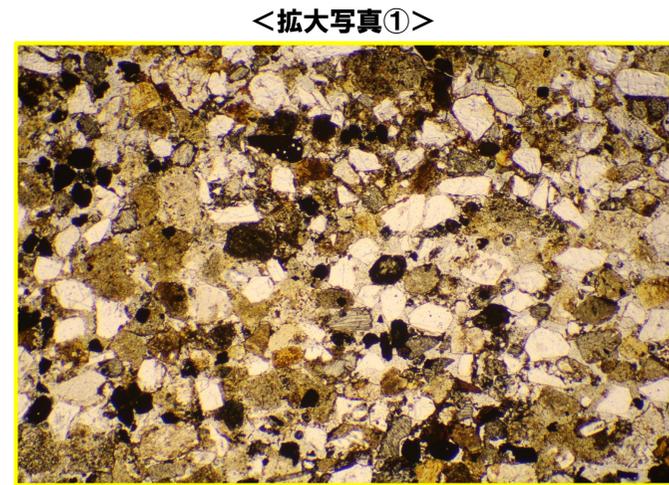


5cm
薄片試料写真(作成前)



オープンニコール

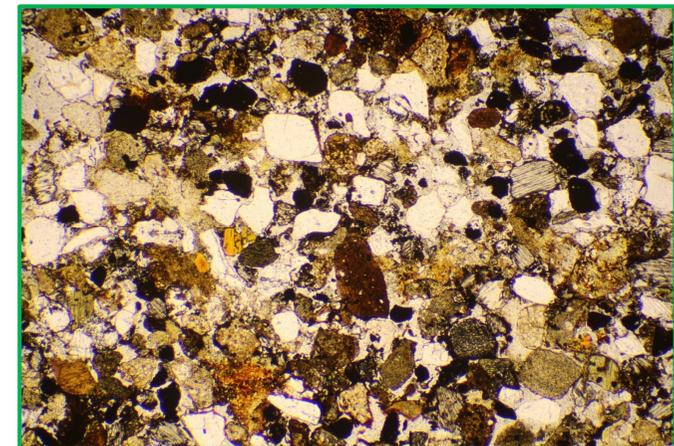
10mm



オープンニコール

<拡大写真②>

1mm

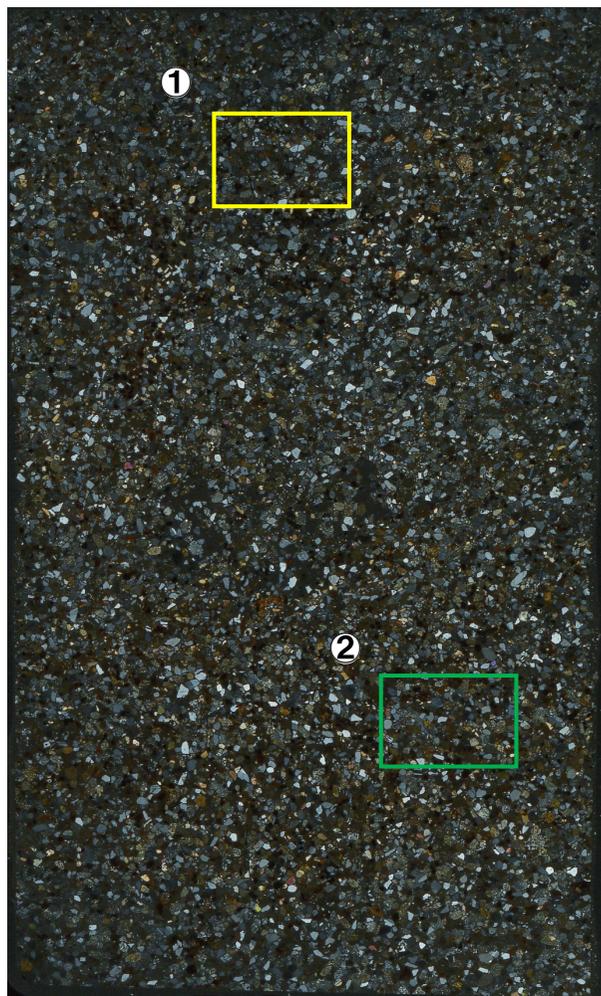


オープンニコール

1mm

2.2.2 地層区分の妥当性

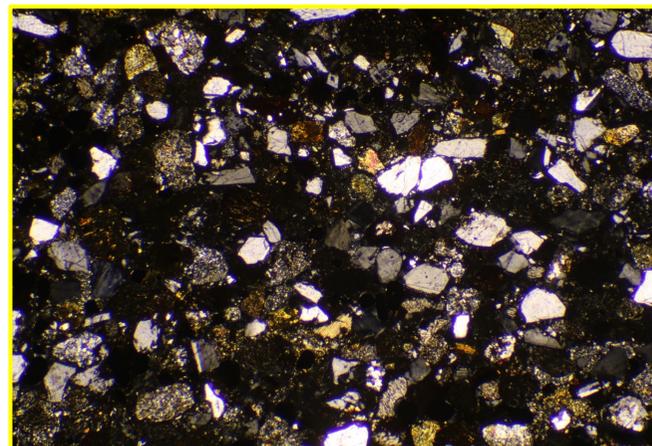
①薄片観察-SKB-TW-3-3(2/2)-



クロスニコル

10mm

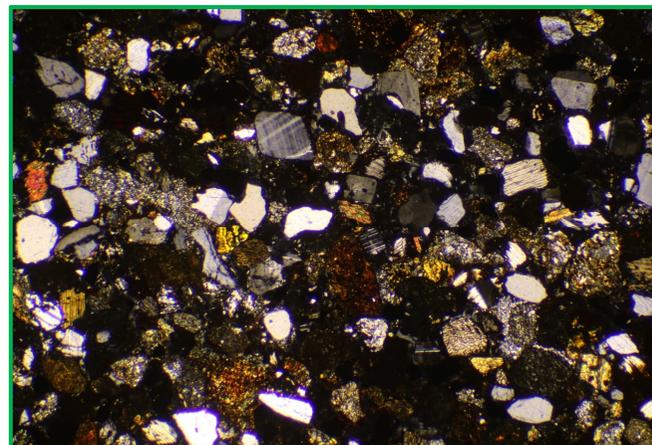
<拡大写真①>



クロスニコル

1mm

<拡大写真②>



クロスニコル

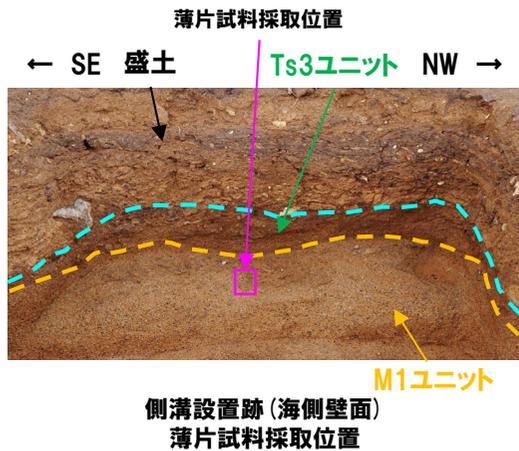
1mm

2.2.2 地層区分の妥当性

①薄片観察-SKB-TW-3-4(1/2)-

【SKB-TW-3-4 (M1ユニット)】

○丸みを帯びた砂粒径の碎屑物を主体とし、粒子の縁に泥粒径の碎屑物がわずかに認められるが、粒子間は空隙となっており粘土鉱物は認められない(拡大写真①及び②)。



※横断掘削箇所①の掘削時に、基底の盤下げを行なった上で、薄片試料を採取した。

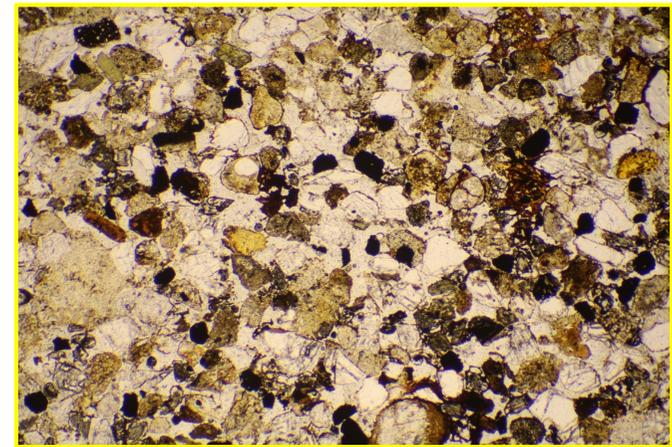


薄片試料写真(作成前)
5cm



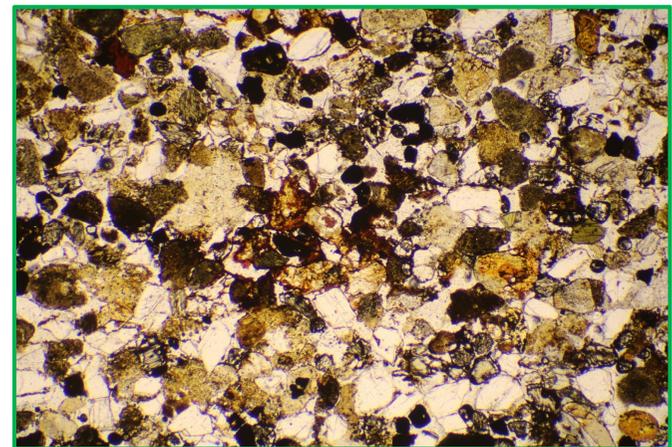
オープンニコル
10mm

<拡大写真①>



オープンニコル
1mm

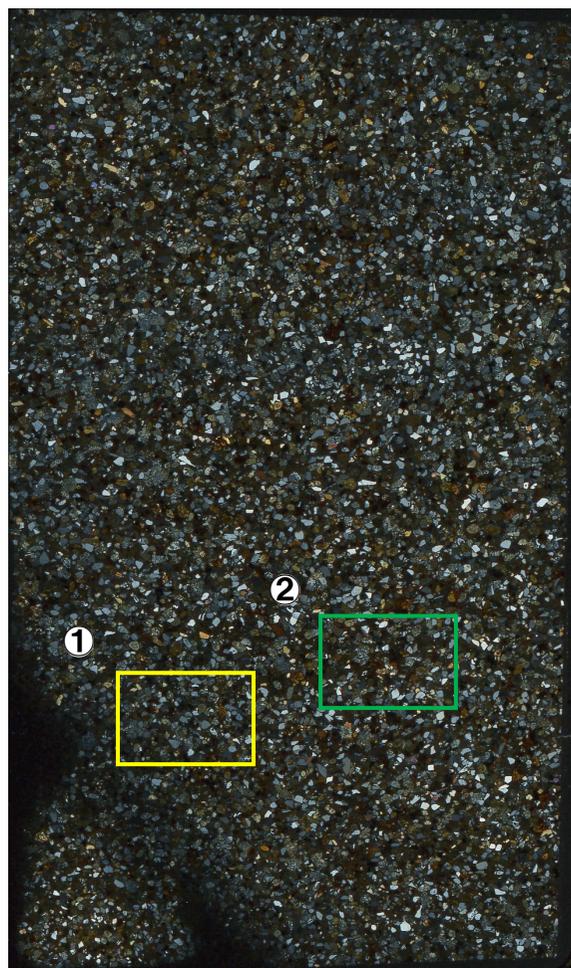
<拡大写真②>



オープンニコル
1mm

2.2.2 地層区分の妥当性

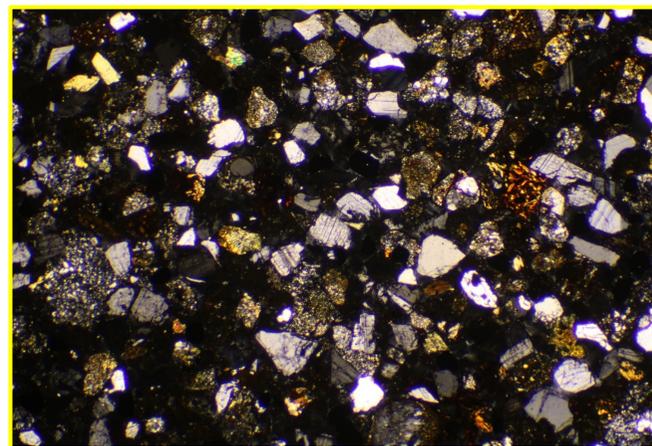
①薄片観察-SKB-TW-3-4(2/2)-



クロスニコル

10mm

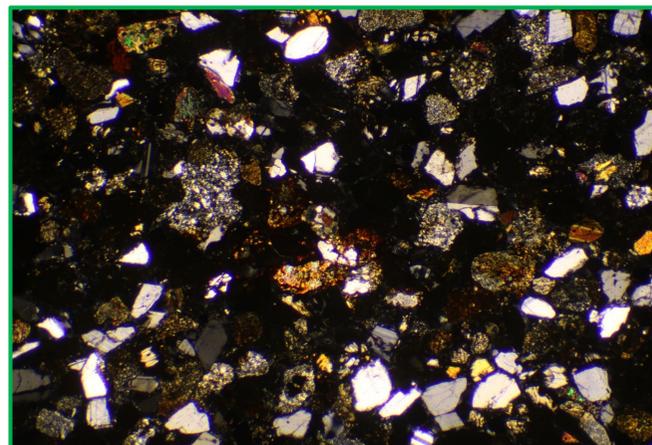
<拡大写真①>



クロスニコル

1mm

<拡大写真②>



クロスニコル

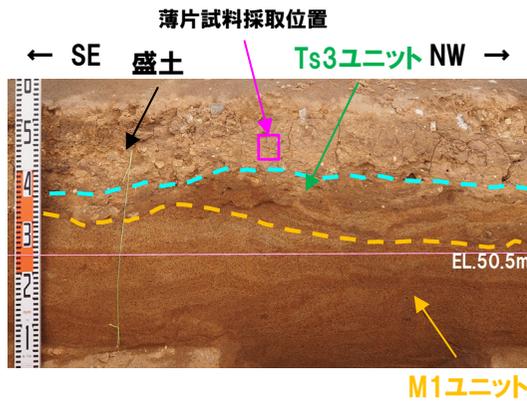
1mm

2.2.2 地層区分の妥当性

①薄片観察-SKB-TW-2(1/2)-

【SKB-TW-2(盛土)】

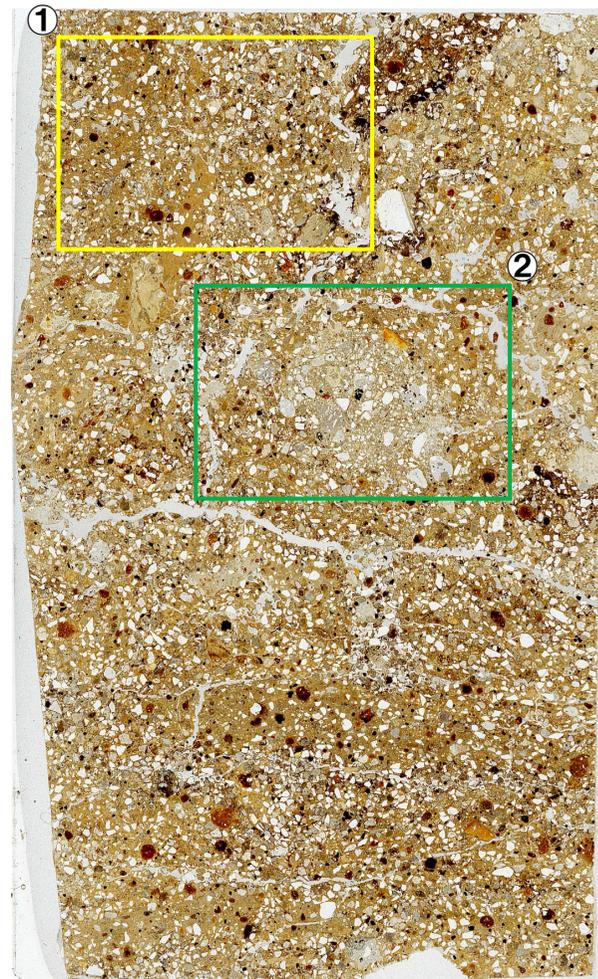
- 黄褐色を呈する粘土鉱物が薄片試料全体に多く認められるが、局所的に卓越して多い箇所(拡大写真①)が認められる。
- 水平方向に連続する空隙が数条認められ、薄片試料内を横断し、層相観察及びはぎとり転写試料観察において認められる特徴(亀裂が発達する)と調和的である。
- 砂粒径の碎屑物の量及び粒径の異なる箇所が認められ、粒子の形状及び粒径等が変化に富み、不均質な性状を示す(拡大写真②)。



側溝設置跡(海側壁面)
薄片試料採取位置

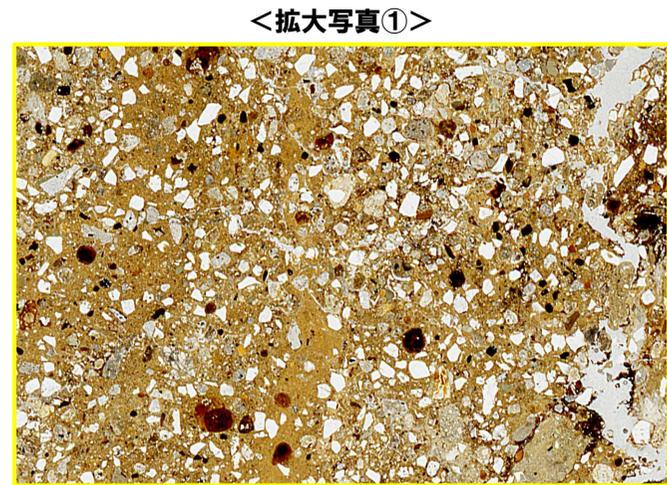


5cm
薄片試料写真(作成前)



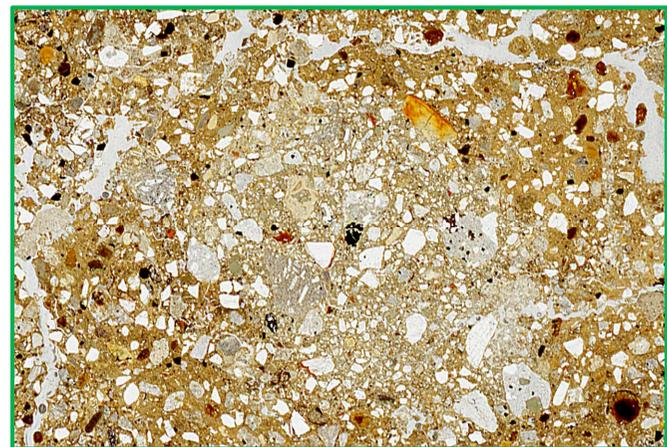
オープンニコル

10mm



オープンニコル

2mm



オープンニコル

2mm